

トクタイ化

「近くにあることで足を運びやすくなるようにしたかった」。諏訪市湖岸通りにある齋藤法律事務所の駒ヶ根事務所を駒ヶ根市上穂南に開設した。県弁護士会によると、同市にはこれまで法律事務所はなかった。裁判所近くに事務所を置く弁護士が多いが、「弁護士の都合でなく、住民の需要に合わせるべきだ」と話す。

岡谷市出身。2000年に諏訪市で弁護士活動を始めた。07年度に県弁護士会の副会長を務め、



駒ヶ根に事務所を設けた諏訪の弁護士

齋藤 泰史さん(38)

「司法過疎」の改善目指す

地域に弁護士がない「司法過疎」の改善に力を入れた。町村で無料法律相談をし、件数は多くなくても需要があることを知った。身近に弁護士がないため相談できず、何年も1人で悩む事例もあるという。新司法試験の導入もあって全国的に弁護士数は増えており、大都市に集中しがちな弁護士の適正配置が進むのではないかと期待する。

通り掛かりに事務所の開設を知り、相談に訪れる人も。職員は常にいるが、自身を含め弁護士が詰めるのは現在、週3日(曜日は不定)。今後、常駐が目標だ。「地域に溶け込み、身近な存在になればいい」